

# 福島県立医科大学 大学院医学研究科(博士課程)

## 平成 23 年 10 月入学 ・ 平成 24 年 4 月入学

### 学 生 募 集 要 項

#### 1 専攻、分野、及び募集人員

入学志願者は、学習目標に応じて下記のコースから1つを選択し、また、当該コースにおいて専門的に研究する分野を1つ選択して志願してください。

各コースの特色並びに各分野における研究テーマは本要項 p 11 以降に掲載しています。

専攻・コース	募集人員		分野 (※1)
	平成23年10月入学	平成24年4月入学	
<b>医学専攻</b> (※2)  <b>高度医学研究者コース</b>  <b>専門医研究者コース</b>	<b>【一般入試】</b> 若干名  <b>【外国人留学生入試(※4)】</b> 若干名	<b>【一般入試】</b> 37名  <b>【外国人留学生入試(※4)】</b> 若干名  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">一般入試には社会人(※3)を含みます</div>	神経発生学、機能組織学、分子機能学、神経生理学、分子調節学、分子免疫学、分子薬理学、感染症学、血液腫瘍病態学、小児腫瘍学、分子細胞病理学、腫瘍細胞病理学、衛生学・予防医学、疫学・地域保健学、法医学、循環・血液病態情報学、消化器病態学、代謝制御学、病態神経学、呼吸器病態学、病態制御外科学、腫瘍専門医養成コース、腫瘍外科学、脳神経外科学、運動機能再建学、生活機能学、心臓血管系再建学、形成外科学、産科婦人科学、小児保健学、小児科学、眼機能再建学、皮膚・粘膜学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、神経精神医学、放射線医学、麻酔学、感染制御・臨床検査医学、移植免疫学、分子細胞情報学、細胞科学、分子神経生物学、地域・家庭医療学、分子遺伝学、口腔組織学、循環補助制御学、消化器内視鏡学

※1 上記表中の分野は平成23年4月時点のものです。平成24年4月入学入試に出願の際は本学ホームページ等で最新の状況をご確認ください。

※2 入学後は、本学附属病院の専攻医として勤務しながら大学院での研究が可能です。

※3 社会人とは、官公庁、研究所、病院（本学附属病院以外）、民間企業等に勤務し、勤務成績が優秀で入学後もその職を有する者をいいます。

※4 外国人留学生とは日本国内の大学院に入学する目的で入国した者で、出入国管理及び難民認定法第2条の2第2項別表第1の「留学」の在留資格を有する者又は有することとなる者をいいます。

#### 【高度医学研究者コース】

医学部卒業生、あるいは本学に設置された修士課程（医科学専攻）や他学部修士課程の修了者を主な対象とし、医学の発展に貢献する研究者になることを目標とする人材を育成します。

#### 【専門医研究者コース】

本学、あるいは他大学の医学部を卒業し、いわゆる初期研修を終えた研修医を主な対象とします。

高度な専門性を持ち、将来は医学のために医療の現場から貢献できる研究能力を備えた臨床医になることを目的とする人材を育成します。

また、「がんプロフェッショナル養成プラン」に基づく「腫瘍専門医養成コース（3コース）」（p8参照）を包括しています。

## 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

※ 文中【 】内は平成23年10月入学者へ取扱です。

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の獣医学（以下「医学等」という。）を履修する課程を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者【平成23年9月までに卒業見込みの者】
- (2) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学等）を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者【平成23年9月までに卒業見込みの者】  
ただし、通算修業年数が18年に満たない者で、その不足する年数以上を大学、研究所等において研究に従事し、本学大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものを含む。
- (3) 文部科学大臣の指定した者のうち次に掲げる者
  - ア 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者【平成23年9月までに卒業見込みの者】
  - イ 修士課程又は学校教育法(昭和22年法律第26号)第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者
  - ウ 前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で、本学大学院において大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
  - エ 大学（医学等を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上（見込みを含む）研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
- (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの  
なお、上記出願資格にあつては医師免許の有無は問いません。

## 3 出願資格の認定

前記2(2)のただし書き、(3)のウ、エ、及び(4)のいずれかに該当する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、次のとおり申請してください。

### (1) 申請期間

10月入学	平成23年7月11日(月)から7月15日(金)までの 午前9時から午後5時まで
4月入学	平成23年11月7日(月)から11月11日(金)までの 午前9時から午後5時まで

郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院（博士課程）出願資格審査申請書在中」と明記の上、上記各期間の最終日まで必着のこと。

### (2) 申請書類

提出書類	摘 要
出願資格審査申請書	本要項添付の用紙を使用してください。
志望理由書	本要項添付の様式に準じて作成してください。

成績証明書	最終学校(学部・学科)長が作成し厳封したもの
卒業(見込)証明書 または 修了(見込)証明書	
受験許可書	社会人のみ作成。 本要項添付の用紙に所属長が証明したもの
研究活動歴	本要項添付の様式に準じて、現在行っている研究活動の内容、成果等を詳細に記載してください。

※ 審査上必要と認めた場合には上記以外の証明書等の提出を求める場合があります。

(3) 出願資格審査の方法

申請書類により行います。ただし、必要と認めたものについては、口述審査を行います。

(4) 出願資格審査の結果通知

出願期間までに資格審査結果を郵送により通知します。

#### 4 願書受付期間

10月入学	平成23年7月25日(月)から7月29日(金)までの 午前9時から午後5時まで
4月入学	平成23年11月21日(月)から11月30日(水)までの 午前9時から午後5時まで ※ 土日、祝日を除きます

郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院(博士課程)出願書類在中」と明記の上、上記各期間の最終日まで必着のこと。

#### 5 出願手続

志願者は出願前に希望する分野の指導教員へ連絡の上、研究内容等について必ず確認をしてください。

また、上記3「出願資格の認定」時に提出したものについては、改めて提出する必要はありません。

(1) 出願者共通事項

提出書類	摘 要
入学願書	本要項添付の用紙を使用してください。 裏面の履歴書欄は、高等学校入学以降空白期間がないよう記入してください。
写真票・受験票	・本要項添付の用紙を使用してください。 ・縦4cm、横3cmの写真(無帽、上半身正面、無背景、出願前3ヶ月以内に撮影したもの)を所定に欄に貼付してください。
志望理由書	本要項添付の様式に準じて作成してください。
成績証明書	最終学校(学部・学科)長が作成し厳封したもの 大学院修士課程卒業者については出身大学の成績証明書のほか、修士課程における成績証明書を添付してください。 ※本学医学部卒業(見込)者及び医学研究科修士課程修了(見込)者は不要です。
卒業(見込)証明書 または 修了(見込)証明書	最終学校(学部・学科)長が作成したもの ※本学医学部卒業(見込)者及び本学医学研究科修士課程修了(見込)者は不要です。
入学検定料	30,000円を郵便局またはゆうちょ銀行に振込み、受領した「郵便振替払込受付証明書(お客様用)」を入学願書の所定欄に貼付してください。 なお、払込手数料は出願者の負担となります。
受験票送付用封筒	定型封筒に350円分の切手を貼り、受験票送付先、郵便番号を記入してください。

## (2) 社会人

出願資格の認定を要しない社会人入学希望者は上記(1)のほか以下の書類を提出してください。

提出書類	摘 要
志望理由書	本要項添付の様式に準じて作成してください。
受験許可書	本要項添付の用紙に所属長が証明したもの
研究活動歴	本要項添付の様式に準じて作成してください。

## (3) 外国人留学生

上記(1)のほか以下の書類を提出してください。

提出書類	摘 要
健康診断書	本要項添付の用紙を使用してください。
外国人登録原票記載事項証明書	市町村発行
出身大学学長または研究活動における指導教官等の推薦書	様式任意

※ 審査上必要と認めた場合には上記以外の証明書等の提出を求める場合があります。

## 6 入学者選抜方法

入学者の選抜は、小論文、面接及び上記出願書類の審査を総合して行います。

### (1) 一般入試（社会人を含む）

① 小論文 ② 面接

### (2) 外国人留学生入試

① 小論文（英語での記述も可） ② 面接 ③ 健康診断

## 7 試験期日、時間等【一般入試(社会人を含む)・外国人留学生入試とも】

区分	期日	科目・時間
10月入学	平成23年 8月27日(土)	【小論文】9時00分～10時00分 【面接】10時30分～
4月入学	平成23年12月17日(土)	

※試験場の詳細及び集合時間等は受験票送付時に通知します。

## 8 合格者発表

10月入学	平成23年9月22日(木)
4月入学	平成24年1月19日(木)

午前10時頃、本学管理棟2階学生課前掲示板に掲示するとともに本人あて通知します。

## 9 入学手続等

下記により入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

10月入学	平成23年9月22日(木)～9月30日(金)
4月入学	平成24年1月23日(月)～1月27日(金)

※ 午前9時～午後5時まで

※ 郵送による場合は書留速達とし、上記期間内に必着とします。

※ 期限までに入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとします。

(2) 入学手続場所

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
福島県立医科大学 学生課医学部教務係 電話 024-547-1095

(3) 必要書類等

①誓約書②身元保証書、③住民票（本人のもの）、④科目履修届（該当者のみ）、⑤学生記録  
⑥写真（2枚）、⑦授業料口座振替依頼書、⑧長期履修学生制度関係書類（該当者のみ）

(4) 納付金

- ① 入学料 282,000円（入学手続時に納入のこと。）
- ② 授業料 535,800円（入学後に納入してください。納入方法は口座振替で2期分納（均等割）期限は4月末と10月末です。）

※ 入学料及び授業料については変更されることがあり、在学中に授業料の改定が行われた場合は改定時から新授業料が適用されます。

## 10 注意事項

- (1) 受験者は別途指示する時間までに試験場に集合して受験に関する指示を受けてください。
- (2) 願書受付後は、提出した書類及び入学検定料は、いかなる事由があっても返還しません。
- (3) 出願書類の記載事項と事実が相違する場合は入学を取り消す場合があります。
- (4) 出願時に提出された入学願書等に記載されている個人情報については、入学者選抜事務、入学手続、入学後の修学指導及び諸連絡等の業務についてのみ利用し、他の業務には利用しません。
- (5) 入学試験に関する照会先

福島県立医科大学 学生課 入試係 〒960-1295 福島市光が丘1番地  
電話 024-547-1093 ファクス 024-547-1989

# 福島県立医科大学大学院医学研究科(博士課程)入学案内

## 1. 概要

福島県立医科大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、医学に関する研究を指導する能力を養うことを目的としています。

平成 16 年度以降、4 専攻（「地域医療・加齢医科学専攻」、「機能制御医科学専攻」、「神経医科学専攻」、「分子病態医科学専攻」）構成により教育研究を進めてきましたが、平成 21 年度より 1 専攻（「医学専攻」）へ再編・統合しました。

新たに設置した「医学専攻」では、特定の領域を深く究めることも、医学の様々な領域を広く縦断して修めることも可能な授業構成としており、学生が持つ資質と意欲を最大限に引き出し、新たな医学の創造に向かい優れた医学の実践を通して地域の発展に尽力する人材を育成します。

## 2. 標準修業年限

4 年

## 3 授業の構成と概要

別表 1 のとおり

## 4. 分野と研究内容

各分野、指導担当教員、及び研究指導テーマについては、別表 2 「各分野の教員と主な研究テーマ」のとおり。（別表 2 は平成 23 年 4 月時点での予定です。平成 24 年 4 月入学入試に出願の際は本学ホームページ等で最新の状況をご確認ください。）

## 5. 学位の授与

医学研究科に 4 年以上在学し、所定の授業科目を履修し、独創的研究に基づく論文を提出してその審査に合格し、かつ、最終試験に合格した者に対して博士（医学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3 年以上在学すれば足りるものとします。

## 6. 奨学金

日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。

また、日本学生支援機構奨学金等を利用できない場合、本学が独自に設けた奨学金制度を利用することができます。

## 7. 臨床研修及び修学条件

原則として、医師法第 16 条の 2 第 1 項に基づく「臨床研修(初期研修)」は、大学院入学前に行うこととし、大学院在学中に臨床研修を行うことは認めません。

また、外国人にあっては、「外国医師等が行う臨床修練に係る医師法第 17 条等の特例等に関する法律」第 3 条に定める許可を受けない限り、医業を行うことはできません。

## 8. 授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学生に対しては、申請により授業料等を免除できる場合があります。

## 9. 長期履修制度

職業を有している等の理由により、標準修業年限で修了することが困難な場合、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的な履修を認める制度があります。

【別表1】

教育科目区分	授業科目	概要	単位数	形態
共通基盤教育科目	医学研究概論	<b>高度医学研究者コースにおける必修科目</b> 研究を遂行する上で不可欠な研究倫理、実験計画立案から研究の進め方、発表に至る基本的手法等について「研究の進め方」、「研究倫理」・・・等全8回のオムニバス方式で講義を行う。	1	必修
	総合人間学特論	<b>専門医研究者コースにおける必修科目</b> 本コースの学生は、生涯にわたり人間について様々な問題に取り組むため、その基礎となる知識について、地域・家庭医療学担当教授を中心として構成される「患者学」、「臨床研究法」等の講義をとおして学ぶ。	1	必修
	医科学研究入門	主に高度医学研究者コースの学生を対象として、医学、医療のさまざまな分野で必要となる生化学、分子生物学的な代表的な実験技術について全15回のオムニバス方式で演習する。	1	選択必修
	総合人間学特論演習	主に専門医研究者コースの学生を対象として、総合人間学特論において学習した内容について理解を深め、演習を行う。	1	選択必修
専門分野教育研究科目	医学特論	学位論文の主体となる分野について深く掘り下げて講義する。	4	必修
	医学特別研究演習	専門とする分野に関する演習であり、本演習をとおして医学特論を理解し、講義内容を実践して専門分野の内容を習得する。 同時に、本演習によって学位論文作成に必要な具体的研究手法を学習する。	8	必修
発展分野教育研究科目	医学特論演習	専門とする分野以外から、専門分野の学位論文作成及び将来の診療・研究にとって必要とされる内容について学習する。 また、 <u>がんプロフェッショナル養成プラン</u> ※に基づく3つの腫瘍専門医養成コース(6単位相当)を設け、治療の計画立案から実際までの演習を行う。	10	必修
	大学院セミナー	多分野にわたる最先端の知識を広く得るために開催し、医学全般に関する理解と関心を深める。	2	必修
特別研究	研究指導	大学院における学習・研究の集大成としてその専門とする分野において研究を行い、新たな知見を得てそれを学位論文として取りまとめるための指導をする。本科目の成果として学位論文が完成される	4	必修

#### 卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、30単位以上履修した上で、独創的研究に基づく論文を提出して審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。

共通基盤教育科目の中から**高度医学研究者コース**の学生は「医学研究概論」を、**専門医研究者コース**の学生は「総合人間学特論」を必修とし、それぞれ残る3教科から1科目以上選択して計2単位以上、並びに専門分野教育科目12単位及び発展分野教育科目の10単位(共通基盤教育科目4単位の場合は8単位)、更に特別研究の4単位の合計30単位以上を履修しなければならない。

#### ※がんプロフェッショナル養成プラン

がん専門医療者を養成する、大学・地域一体の包括的教育プログラムで、本学「専門医研究者コース」には当該プログラムに基づいた「腫瘍専門医養成コース」を内包しています。

「腫瘍専門医養成コース」は、医学特論(臨床腫瘍学:インターネットスクール)及び医学特別研究演習(臨床腫瘍学)における化学療法・外科療法・放射線治療・緩和医療についての実習を必修とし、がん治療認定医資格に対応した「がん薬物療法専門医コース」「放射線腫瘍専門医コース」「腫瘍外科医専門医コース」の3コースで構成されます。

#### ○放射線腫瘍専門医コース

日本放射線腫瘍学会認定医および日本医学放射線学会専門医(治療)を養成するコース。実習は本学附属病院で専門医等のカリキュラムに準じて行います。

#### ○がん薬物療法専門医コース

日本臨床腫瘍学会(JSMO)のがん薬物療法専門医を養成するコース。実習は本学附属病院でJSMOの教育カリキュラムに準じて行います。

#### ○腫瘍外科専門医コース

日本乳癌学会・乳腺専門医を養成するコース。実習は本学附属病院で専門医制度のカリキュラムに準じて行います。

## 履修モデル

いずれの履修例においても修了後は大学、研究・医療機関等での活躍が期待されます。

### 履修例1 基礎医学分野の研究者を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基 盤教育	医学研究概論	1							1
	医科学研究入門	1							1
専門分 野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分 野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
	大学院セミナー	1	大学院セミナー	1					2
特別研 究	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	4

### 履修例2 臨床研究に主体を置き、同時に専門医・認定医を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基 盤教育	総合人間学特論	1							1
	医学研究概論	1							1
	総合人間学特論演習	1							1
専門分 野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分 野教育	医学特論演習	3	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	9
	大学院セミナー	1	大学院セミナー	1					2
特別研 究	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	4

### 履修例3 認定医の資格を持つ医学研究者を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基 盤教育	総合人間学特論	1							1
	医学研究概論	1							1
	医科学研究入門	1							1
専門分 野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8

発展分野教育	医学特論演習	3	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	9
	大学院セミナー	1	大学院セミナー	1					2
特別研究	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	4

履修例4 腫瘍専門医養成コースを選択して高度な専門性を持つ腫瘍専門医を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	総合人間学特論	1							1
	医学研究概論	1							1
	総合人間学特論演習	1							1
専門分野教育	医学特論(臨床腫瘍学)		医学特論(臨床腫瘍学)		医学特論(臨床腫瘍学)		医学特論(臨床腫瘍学)	4	4
	※医学特論(臨床腫瘍学)はインターネットスクール								
	医学特別研究演習(臨床腫瘍学)		医学特別研究演習(臨床腫瘍学)		医学特別研究演習(臨床腫瘍学)		医学特別研究演習(臨床腫瘍学)	8	8
※医学特別研究演習(臨床腫瘍学)は化学療法・外科療法・放射線治療・緩和医療についての実習を必修とする									
発展分野教育	医学特論演習	3	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	9
	大学院セミナー	1	大学院セミナー	1					2
特別研究	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	研究指導	1	4

【別表2】

分野	担当講座・部門	職名	氏名	研究指導の主なテーマ
神経発生学	神経解剖・発生学講座	教授	八木沼洋行	1 神経系の分化に関連した遺伝子の発現様式の解析 2 発生過程に起こる神経細胞死の機序に関する研究 3 発生過程の神経系への効率のよい遺伝子導入方法の開発 4 発生過程における中枢・末梢神経系の軸索ガイダンスの研究
機能組織学	解剖・組織学講座	教授	和栗 聡	1 リソソーム酵素の選別輸送機構 2 ゴルジ-エンドソーム間の膜輸送機構 3 オートファジーの生理病態機能 4 がん関連遺伝子の機能・局在解析
分子機能学	細胞統合生理学講座	教授	狭間章博	1 イオンチャネル・トランスポータを介する上皮膜輸送 2 実験動物学、循環生理学、病態生理学
神経生理学	神経生理学講座	准教授	浄土英一	1 統合失調症動物モデルにおける認知・行動異常発現に関わる神経機構の解明 2 睡眠・覚醒の神経性調節における脳幹と視床下部の連関の解析 3 脳幹と視床下部における排尿・生殖の調節機構の解明
分子調節学	生化学講座	教授	橋本康弘	1 脳脊髄液中の認知症バイオマーカーについての文献抄読と討論及び実習 2 糖タンパク質代謝とその調節についての文献抄読と討論、実習
分子免疫学	免疫学講座	講師	関根英治	自己免疫疾患における自然免疫の役割 1 全身性エリテマトーデスにおける補体レクチン経路と第2経路の関与 2 全身性エリテマトーデスにおける転写因子 IRF4 の役割
分子薬理学	薬理学講座	教授	木村純子	1 Na-Ca 交換輸送体の調節と機能 2 前白血病状態の分子メカニズム 3 腎機能と血圧調節 4 動脈硬化症の病態生理
感染症学	微生物学講座	教授	錫谷達夫	1 サイトメガロウイルス感染と疾患の解析 2 インターフェロンの作用機序の解明とウイルスの逃避機構について 3 細菌、真菌の分子生物学的同定法と常在細菌叢について 4 健康食品の開発
血液腫瘍病態学	病理病態診断学講座	教授	阿部正文	悪性リンパ腫の病態と生物学的特性の解析
小児腫瘍学	病理病態診断学講座	准教授	北條 洋	1 小児期腫瘍の病態、生物学的特性、および腫瘍発生 2 病理診断学の手法と応用
分子細胞病理学	基礎病理学講座	教授	千葉英樹	1 新規幹細胞システムを用いた上皮分化誘導機構の解明 2 血液脳関門の制御機構と脳疾患 3 難治がんに対する分子標的療法の開発

				<ul style="list-style-type: none"> <li>4 C型肝炎に対する新規治療法の開発</li> <li>5 末梢神経バリアの制御機構と新規ドラッグデリバリーシステムへの応用</li> <li>6 細胞外マトリックス分子 laminin の機能解析</li> <li>7 がんの転移メカニズムの解析</li> </ul>
腫瘍細胞病理学	基礎病理学講座	准教授	杉野 隆	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 がんの分子病理学</li> <li>2 がん転移モデルの開発</li> <li>3 がん転移の分子機構解明と診断・治療法の開発</li> <li>4 腫瘍血管形成機構の解明</li> <li>5 乳がんの悪性形質に関わる分子の探索</li> </ul>
衛生学・予防医学	衛生学・予防医学講座	教授	福島哲仁	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 生活習慣病に関する予防医学研究</li> <li>2 病院などにおける臨床疫学研究</li> <li>3 医療経済、地域医療計画、医療政策研究</li> <li>4 労働者の安全及び衛生に関する産業医学研究</li> <li>5 健康教育、行動科学研究</li> <li>6 環境化学物質の生体影響と予防医学的研究</li> </ul>
疫学・地域保健学	公衆衛生学講座	教授	安村誠司	患者のデータに基づく臨床疫学研究。また、生活習慣病の疫学、感染症の疫学と管理、在宅高齢者の「閉じこもり」の疫学と予防、地域の高齢者における転倒・骨折の疫学と予防、介護予防に関する研究、国際協力と疫学、妊娠・出産・育児に関する疫学、など。
法医学	法医学講座	教授	平岩幸一	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 外傷性ショック発症因子の解析</li> <li>2 外傷性ショックによるNOSやサイトカイン・メディエータ分子発現の解析および形態的特異所見の検索</li> </ul>
循環・血液病態情報学	循環器・血液内科学講座	教授	竹石恭知	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 心不全の病態解明と新たな治療法の確立</li> <li>2 冠動脈攣縮における分子メカニズム</li> <li>3 血管内皮細胞機能不全の病態解明と治療法の確立</li> <li>4 生活習慣病を基礎とする心血管病の病態解明と治療戦略</li> <li>5 造血器疾患における遺伝子学的検討</li> <li>6 難治性心疾患(心アミロイドーシス)への造血幹細胞移植の応用</li> </ul>
消化器病態学	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	教授	大平弘正	自己免疫性肝疾患の発症機序と宿主免疫機構の解析、消化器癌の病態解明と癌遺伝子免疫療法の開発、慢性膵炎の病態解明と治療法に関する研究、消化管粘膜下腫瘍の病態解明と治療法の開発、炎症性腸疾患の病態解明と治療法に関する研究
代謝制御学	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	教授	渡辺 毅	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 糖尿病性血管合併症発症の分子機構の研究(腎症・網膜症)</li> <li>2 メサンギウム細胞の伸展刺激による遺伝子発現・増殖制御機序</li> <li>3 腎障害進展における成長因子・オートコイド・核内受容体の役割に関する分子生物学的研究</li> <li>4 高血圧性血管障害、特に血管内皮細胞機能障害における接着因子の役割</li> <li>5 高血圧の成因におけるドパミン受容体系遺伝子異常の役割</li> </ul>

病態神経学	神経内科学講座	教授	宇川義一	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床症状と病変の対応 画像と神経所見</li> <li>2 神経免疫疾患の病態解析</li> <li>3 神経筋イオンチャネルの解析法</li> <li>4 病態における中枢神経可塑性の研究</li> <li>5 磁気刺激を用いた神経疾患治療の開発</li> </ol>
呼吸器病態学	呼吸器内科学講座	教授	棟方 充	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 呼吸器疾患発症における環境・遺伝子相互作用 (Gene-Environment Interaction)の解析</li> <li>2 呼吸器疾患病因・病態におけるエピジェネティック制御機構</li> <li>3 肺の形態機能関連(Structure-Function Relationship)</li> <li>4 呼吸器疾患の非侵襲的診断法の開発(音、呼気ガス、呼気濃縮液、誘発喀痰など)</li> <li>5 呼吸器内視鏡を用いた新しい呼吸器疾患診断法の開発</li> <li>6 呼吸器内視鏡を用いた新しい呼吸器疾患治療法(内視鏡的インターベンション)の開発</li> <li>7 呼吸器疾患の新しい治療戦略の理論構築と実践</li> <li>8 呼吸器疾患治療における薬理遺伝学(Pharmacogenetics)と個別化治療の開発</li> <li>9 呼吸器疾患予防戦略の理論構築と実践</li> </ol>
病態制御外科学	臓器再生外科学講座	教授	後藤満一	<p>外科領域における臓器機能制御・再建 臓器細胞移植による生体機能制御 癌病態の解明と癌の免疫化学療法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・癌の分子生物学</li> <li>・樹状細胞の生物学</li> <li>・癌の免疫化学療法</li> </ul>
腫瘍専門医養成コース	臨床腫瘍センター (器官制御外科学講座)	教授	竹之下誠一	<p>がん化学療法に必要とされる多分野がん腫治療の知識・技術を習得し(消化器・呼吸器・乳房・造血器悪性疾患の4分野習得を必須とし、入院・外来での治療を実践する)、がん薬物療法専門医認定資格修得を視野に入れた研究・演習を行う。</p> <p>また、腫瘍生体治療学講座(寄付講座 平成24年12月31日まで設置)柴田昌彦特任教授によるがん免疫療法・化学療法の研究・演習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がん化学療法における効果と安全性の向上に関する研究</li> <li>2 がん化学療法時に起きる心理学的・社会的問題の理解と対応実践</li> <li>3 がん化学療法に関する臨床試験方法論</li> <li>4 化学療法を含むがんの multimodality 治療開発</li> </ol>
腫瘍外科学	器官制御外科学講座	講師	大竹 徹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんプロフェッショナルプランによる乳腺専門医(外科)の養成</li> <li>2 3次元病理解析による至適切除範囲を考慮した乳房温存療法の開発</li> <li>3 遺伝子発現解析による乳癌薬物療法の効果予測マーカーの開発</li> </ol>

				および臨床応用 4 硬さセンサーを用いた触診端子の開発および乳癌検診への臨床応用
脳神経外科学	脳神経外科学講座	教授	齋藤 清	1 新しい術中モニタリングの開発(脳機能誘発電位、及び各脳神経機能モニタリング) 2 神経内視鏡手術の開発 3 3D-CT画像による診断及び手術支援の開発 4 脳腫瘍の遺伝子解析 5 手術シミュレーションと手術教育
運動機能再建学	整形外科科学講座	教授	紺野慎一	運動器疾患に由来する疼痛発生のメカニズム
生活機能学	整形外科科学講座	教授	紺野慎一	日常生活の質的向上に関する研究
心臓血管系再建学	心臓血管外科学講座	教授	横山 斉	1 心拍動下手術の安全性向上に関する研究 2 血管新生療法の開発と評価 3 心表面冠動脈運動3次元解析
形成外科学	形成外科学講座	教授	上田和毅	顕微鏡を用いた、血管吻合、神経縫合を行ない、血管の開存率や神経機能の回復を観察して、より良い血管吻合や神経縫合の方式を開発する。
産科婦人科学	産婦人科学講座	教授	藤森 敬也	1 早産のメカニズムと早産防止法の研究 2 胎児機能不全の病態生理学的研究 3 胎児治療に対する基礎的研究 4 癌の転移機構に関する基礎的研究 5 難治性不妊症例に対する研究 6 胚由来着床促進因子に関する研究
小児保健学	小児科学講座	教授	細矢光亮	1 発育・発達障害の病態 2 発育・発達障害の診断と治療
小児科学	小児科学講座	教授	細矢光亮	1 小児疾患の病態解明 2 小児疾患の診断と治療
眼機能再建学	眼科学講座	教授	飯田知弘	網膜硝子体疾患の病態解明と治療の開拓
皮膚・粘膜学	皮膚科学講座	教授	山本俊幸	1 強皮症の病態解析、皮膚・粘膜の免疫アレルギー学 2 皮膚悪性腫瘍 3 乾癬の病態
泌尿器外科学	泌尿器科学講座	講師	相川 健	1 $\beta$ 3 受容体遺伝子変異と切迫性尿失禁 2 前立腺肥大症の病態 3 性ホルモンと下部尿路機能 4 尿路閉塞と膀胱平滑筋機能 5 過活動膀胱の病態 6 前立腺がんの治療
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科学講座	教授	大森孝一	1 喉頭・気管の再生に関する研究 2 音声外科による治療技術の開発研究

				<ul style="list-style-type: none"> <li>3 頭頸部悪性腫瘍における頸部センチネルリンパ節の診断意義に関する研究</li> <li>4 ウイルスによる聴覚障害に関する研究</li> <li>5 嚥下障害に対する手術的治療に関する研究</li> <li>6 内耳の再生に関する研究</li> <li>7 加齢が中耳・内耳に及ぼす影響に関する研究</li> <li>8 側頭骨病理に関する研究</li> <li>9 頭頸部悪性腫瘍に対する抗癌剤の効果的投与方法に関する実験的研究</li> </ul>
神経精神医学	神経精神医学講座	教授	丹羽真一	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 統合失調症の事象関連電位</li> <li>2 統合失調症の認知機能評価とトレーニング</li> </ul>
放射線医学	放射線医学講座	教授	宍戸文男	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 CT及びMRIによる脳神経疾患の診断に関する研究</li> <li>2 インターベンショナルラジオロジーに関する研究</li> <li>3 脳循環代謝測定法の研究</li> <li>4 脳神経組織の線量率効果に関する研究</li> <li>5 定位放射線治療法及び強度変調放射線治療法に関する研究</li> <li>6 RIを用いた放射線治療に関する研究</li> </ul>
麻酔学	麻酔科学講座	教授	後藤満一	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 全身麻酔薬下の神経伝達物質放出</li> <li>2 全身麻酔薬の脊髄における痛覚伝導に及ぼす影響</li> </ul>
感染制御・臨床検査医学	感染制御・臨床検査医学講座	教授	金光敬二	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 感染症におけるDNA診断法の開発</li> <li>2 医療関連感染の疫学的研究</li> <li>3 新規メカニズムによる滅菌方法の開発</li> <li>4 プロテオミクスを用いた自己抗体検出法の開発</li> <li>5 免疫学的測定法 (immunoassay) における干渉</li> <li>6 ELISA の諸問題</li> </ul>
移植免疫学	輸血・移植免疫学講座	教授	大戸 斉	同種免疫反応の評価と拒絶反応の予防制御
分子細胞情報学	生体物質研究部門	教授	本間 好	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 細胞分化、細胞増殖のシグナリングに関する研究</li> <li>2 病態メカニズムの研究</li> </ul>
細胞科学	細胞科学研究部門	教授	和田郁夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 蛋白質の品質管理機構の解明</li> <li>2 ファゴサイトーシスを可能にする細胞の分子機構</li> <li>3 細胞内膜構造の維持機構と信号伝達機構</li> <li>4 再生医学のための細胞工学基盤の確立</li> </ul>
分子神経生物学	生体機能研究部門	教授	小林和人	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 大脳基底核神経回路を介する行動制御機構</li> <li>2 報酬行動を媒介する神経回路の制御機構</li> <li>3 神経回路の形成と生存維持のシグナル伝達機構</li> </ul>
地域・家庭医療学	地域・家庭医療学講座	教授	葛西龍樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 臨床医に必要な基礎的能力</li> <li>2 広範な健康問題に対応できる知識・技術</li> <li>3 家庭医を特徴づける能力</li> <li>4 家庭医療の教育・評価方法と臨床研究</li> </ul>

				5 医療経済学、医療政策学、医療マネジメント学
分子遺伝学	放射生同位元素研究施設	准教授	遠藤雄一	1 遺伝子クローニングと発現解析 2 疾患の遺伝子解析
口腔組織学	歯科口腔外科	准教授	長谷川博	1 口蓋裂と発育 2 歯牙欠如と障害、咀嚼の回復 3 歯痛と三叉神経 4 動注化学療法の基本と臨床
循環補助制御学	手術部	准教授	猪狩次雄	循環補助に関する循環器学、心臓血管外科学、人工臓器、移植、再生医療
消化器内視鏡学	内視鏡診療部	准教授	小原勝敏	食道・胃静脈瘤の病態解明と内視鏡的治療法の開発、消化管粘膜下腫瘍の病態解明と内視鏡的治療法の開発、早期消化器癌の内視鏡診断と内視鏡治療の開発、慢性膵炎の超音波内視鏡診断に関する研究、炎症性腸疾患の病態解明と内視鏡治療に関する研究、超音波内視鏡下穿刺法を応用した胆膵疾患の診断法と治療法

※本表記載事項は平成23年4月時点での予定です。